

磨き上げた工程で、 高精度の金型を製造

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット



小径穴の内面を磨く

業務内容 取引先の生産方法に 応じて金型に二工夫

「金剛ダイス工業」は小ネジやボルト、小型金属部品を作るためのヘッダーダイス、フォーマー工具、冷間鍛造用金型を製造する。設計から製造、検査に至るまですべての工程を一貫して行い、顧客が求める品質を責任をもって提供している。

顧客毎に生産方法は異なるため廣尾敬雄社長は「新しい注文をいただく、必ずお客様の工場を見学する」と話し、それぞれのもづくりの方法に応じてひと工夫を加えた金型を作るよう心がけている。以前は1社への受注依存率が高かったが、廣尾社長が就任後は展示会への出展など攻めの営業を展開し、取引先の幅を広げている。

強み 緻密な手作業と先進測定 技術で実現する微細加工

超硬合金を材料に放電加工とラップ加工技術を駆使し、内径2mm以下の小径異形穴冷間鍛造金型を製造できる微細加工技術を強みとしている。小径穴加工の仕上げでは、各技術者が竹串などで自作した工具を用いて、丁寧な手作業による磨き作業を行っている。

廣尾社長は「測定技術が上がらないと加工技術は上がらない」という考えを基に、最新の非接触3次元測定装置を導入した。客観的な判断基準を得て、加工精度をさらに高めることを狙う。

人材育成 若手を育成し 技能継承・多能工化を進める

生産拠点である和歌山工場（和歌山県紀美野町）では周囲に工場が少ないこともあり、大阪市内などに比べ人材を採用し

やすい環境にある。採用した若手を育成するため、毎月勉強会を開催し、技能継承に努めている。

また1人の社員に2つ以上の工程を経験させ、多能工化を進めている。人材配置の柔軟性を高めることが目的で、各工程での技能習熟を促進している。社員間のコミュニケーションを充実させるため、4チームに分かれて改善活動を展開するほか、バーベキューや毎月の誕生会、全日本製造業コマ大戦への参加など幅広い行事を企画する。

今後の展望 微細加工技術を航空・ 宇宙など新分野へ展開

今後は、微細加工技術を金型以外にも展開すべく航空・宇宙分野への進出を目的とした情報収集を開始している。技術をアピールするために出展した展示会では、航空・宇宙分野で使用される部品や治具、医療機器部品の引き合いがあるなど手応えを得た。これまでの品質管理システム構築で得た経験を生かして、必要な認証取得に向けた取り組みの準備を進める。

さらに海外にも目を向け、すでに米国やアジア各国への輸出実績を持つ。将来は、廣尾社長が目標とする「ドイツで認められるものづくり」実現のため、欧州への輸出を目指す。



非接触3次元測定機



若手社員を多能工化

当社の歴史



昭和35年に大阪市西区で創業して以来、超硬合金の加工を中心に難加工材といわれる高硬度材の加工を行ってきました。社名の由来は地球上で最も安定したダイヤモンドの和名「金剛石」。硬くて長寿命の金型を安定した品質でお客様に届けるという創業者の思いから「金剛ダイス工業」としました。

代表取締役 廣尾 敬雄さん

<http://www.kongodies.com/>

主な事業内容

小径穴・異形穴ヘッダーダイス、フォーマー工具の設計・製造

主な取引先(納入先)

ねじ・ボルトメーカー、鍛造メーカー、プラント部品メーカー、耐摩耗部品取扱商社

- 住所 〒547-0041 大阪市平野区 平野北2-11-16
- TEL 06-6792-4562
- FAX 06-6792-4569
- 創業 昭和35年6月
- 設立 昭和40年7月
- 資本金 2,000万円
- 従業員 24名